

ISSN 0912-778X

# 穂別町立博物館館報

第17号

平成11(1999)年度

穂別町立博物館

## 目 次

- 沿 設 の 概 要 .....(p.1)
- 施 設 の 概 要 .....(p.4)
- 施 設 平 面 図 .....(p.4)
- 展 示 活 動 .....(p.5)
- 広 報 活 動 .....(p.6)
- 普 及 教 育 活 動 .....(p.7)
- 収 蔵 資 料 概 要 .....(p.9)
- 資 料 収 集 保 存 活 動 .....(p.9)
- 調 査 研 究 活 動 .....(p.11)
- 運 .....(p.14)

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

## I 「建設の目的」と「展示更新」の基本的考え方

### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

(昭和55(1980)年11月26日)

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

### 〈展示更新の基本的考え方〉

(平成2(1990)年6月27日)

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

## II 沿革

昭和50(1975)年6月

穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏(穂別町在住)。

昭和51(1976)年9月

佐藤昌人指導員(苫小牧青少年センター)・佐藤隆久教諭(穂別町立仁和小学校)、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員(国立科学博物館)に鑑定依頼。

昭和52(1977)年2月

長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。

昭和52(1977)年7月5～8日

「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年5月

「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング(剖出)作業開始。

昭和53(1978)年11月

穂別町立郷土資料館、開館(旧・穂別町立さくら保育所施設利用)。

昭和54(1979)年5月

長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定。



- 昭和55(1980)年10月16日  
「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足。
- 昭和56(1981)年3月13日  
施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更。
- 昭和56(1981)年7月～12月  
博物館建設工事。
- 昭和56(1981)年9月1日  
鈴木 茂学芸員就任(～昭和60年3月31日)。
- 昭和57(1982)年1月16日  
長頸竜復元作業開始。
- 昭和57(1982)年3月～6月  
博物館展示工事が行われる。
- 昭和57(1982)年7月20日  
博物館開館。一般公開開始(初代館長：今幸太郎教育長兼任)。
- 昭和57(1982)年8月26日  
「博物館協議会」発足。
- 昭和57(1982)年11月1日  
北海道博物館協会加入。
- 昭和57(1982)年12月19日  
長頸竜復元骨格展示公開。
- 昭和57(1982)年12月19日～1月23日  
特別展(第1回)「よみがえるクビナガリュウ」。
- 昭和58(1983)年3月2日  
博物館法による登録博物館となる(北博登第28号)。
- 昭和58(1983)年3月28日  
「博物館協力会」設立。
- 昭和58(1983)年4月1日  
日本博物館協会加入。
- 昭和58(1983)年4月28日  
菅原康次(第二代)館長就任。
- 昭和58(1983)年7月22日～8月7日  
収蔵資料展(第1回)「地図展」。
- 昭和58(1983)年8月1日  
全国科学博物館協議会加入。
- 昭和58(1983)年11月1日～3日  
収蔵資料展(第2回)「こけし展」。
- 昭和59(1984)年2月  
村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊。
- 昭和59(1984)年3月27日  
「穂別町立博物館研究報告」刊行開始。
- 昭和59(1984)年6月14日  
第二展示室(町立博物館保存庫)完成。
- 昭和59(1984)年11月1日～4日  
収蔵資料展(第3回)「古い写真・古い文書展」。
- 昭和59(1984)年12月1日  
桜庭勝美(第三代)館長就任。
- 昭和60(1985)年3月30日  
「穂別町立博物館館報」刊行開始。
- 昭和60(1985)年5月1日  
地徳 力学芸員就任(～平成11年3月31日)。
- 昭和60(1985)年11月1日～10日  
特別展(第2回)「北海道一億年」。
- 昭和61(1986)年10月21日～11月9日  
特別展(第3回)「穂別の自然」。
- 昭和62(1987)年1月1日  
今幸太郎(第四代)館長就任(教育長兼任)。
- 昭和62(1987)年7月28日～8月9日  
特別展(第4回)「アンモナイトの系図」。
- 昭和63(1988)年7月17日  
第三展示室(保存庫)完成。
- 昭和63(1988)年8月23日～9月4日  
特別展(第5回)「穂別のカメ化石」。
- 昭和63(1988)年10月6日  
今 幸太郎(第五代)館長就任(専任)。
- 平成元(1989)年6月30日  
仲谷 英夫氏(香川大学助教授):長頸竜ホバツアラキリュウ標本の記載論文公表。
- 平成元(1989)年7月18日～8月20日  
特別展(第6回)「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」。

平成元(1989)年9月29日～10月6日  
学芸員, カナダ・アルバータ州ティーレル古生  
物学博物館に派遣.

平成2(1990)年7月23日  
ドラムヘラー市長夫妻(カナダ, アルバータ州)  
来館.

平成2(1990)年8月18日～9月16日  
特別展(第7回)「戦争と穂別」.

平成2(1990)年9月3日～5日  
レイド, M. G. 氏(アルバータ州ティーレル古  
生物学博物館)来館.

平成2(1990)年12月31日  
野田藤雄(第六代)館長就任(教育長兼任).

平成3(1991)年4月1日  
佐藤 稔(第七代)館長就任.

平成3(1991)年4月28日, 29日  
入館者10万人突破記念事業.

平成4(1992)年2月1日  
展示更新工事開始.

平成4(1992)年4月23日～25日  
カリー, P. J. 氏(アルバータ州ティーレル古生  
物学博物館)来館.

平成4(1992)年4月29日  
展示更新完了, 一般公開再開.

平成6(1994)年4月1日  
野田藤雄(第八代)館長就任(教育長兼任).

平成6(1994)年4月1日  
川上源太郎学芸員就任(～平成10年3月31日).

平成7(1995)年7月15日～9月12日  
学芸員, カナダ・アルバータ州ティーレル古生  
物学博物館に派遣, 研修.

平成7(1995)年8月12日  
かせき学習館完成.

平成8(1996)年7月27日～28日  
'96北海道化石サミット開催(穂別町民セン  
ター).

平成8(1996)年10月6日  
大江美津夫(第九代)館長就任.

平成9(1997)年7月6日, 7月10日～8月31日  
クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第  
8回特別展).

平成10(1998)年4月1日  
櫻井和彦学芸員就任(現任).

平成10(1998)年6月11日  
星 功(第十代)館長就任.

平成10(1998)年8月11日～8月31日  
特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近  
代史)」.

平成11(1999)年1月1日  
山田 正(第十一代)館長就任(現任).

平成11(1999)年5月29日  
入館者30万人突破記念事業.

平成11(1999)年8月1日～8月31日  
特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7,000万年前  
の穂別-」.

平成11(1999)年10月5日～11月28日  
特別展(第11回)「穂別の自然」.

\*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」あるいは「ホベツアラキリュウ」などの使い分けを行っているが、以下に従っている.

- ・「長頸竜」: 動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式.
- ・「首長竜」: 分類学上の名称としては適切ではないが、この場合「発掘調査団」の固有名称として使用.
- ・「クビナガリュウ」: 正式には「蛇頸竜目」または「長頸竜目」あるいはそのカタカナ綴りにするべきであるが、通俗名として普及しているために本の題名として用いられたのであるから、この場合固有名称として使用.
- ・「ホベツアラキリュウ」: 昭和52(1977)年7月5～8日に「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称.

●施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

【穂別町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収 蔵 庫	86.56m <sup>2</sup>
事 務 室	40.50m <sup>2</sup>
研 究 室	31.50m <sup>2</sup>
整 理 室	29.92m <sup>2</sup>
学 習 展 示 室	184.75m <sup>2</sup>
書 庫	35.05m <sup>2</sup>
共 用 部 門	219.76m <sup>2</sup>

〔工 期〕

昭和56年度～57年度

〔総事業費〕

3億7,276万5,000円

〔展示更新〕

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事。

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作。

〔更新事業費〕

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事 務 室	56.70m <sup>2</sup>
作 業 室	56.70m <sup>2</sup>
書 庫	14.04m <sup>2</sup>
レ プ リ カ 室	12.15m <sup>2</sup>
処 理 室	12.15m <sup>2</sup>
展 示 物 保 管 庫	162.00m <sup>2</sup>
共 用 部 門	12.15m <sup>2</sup>

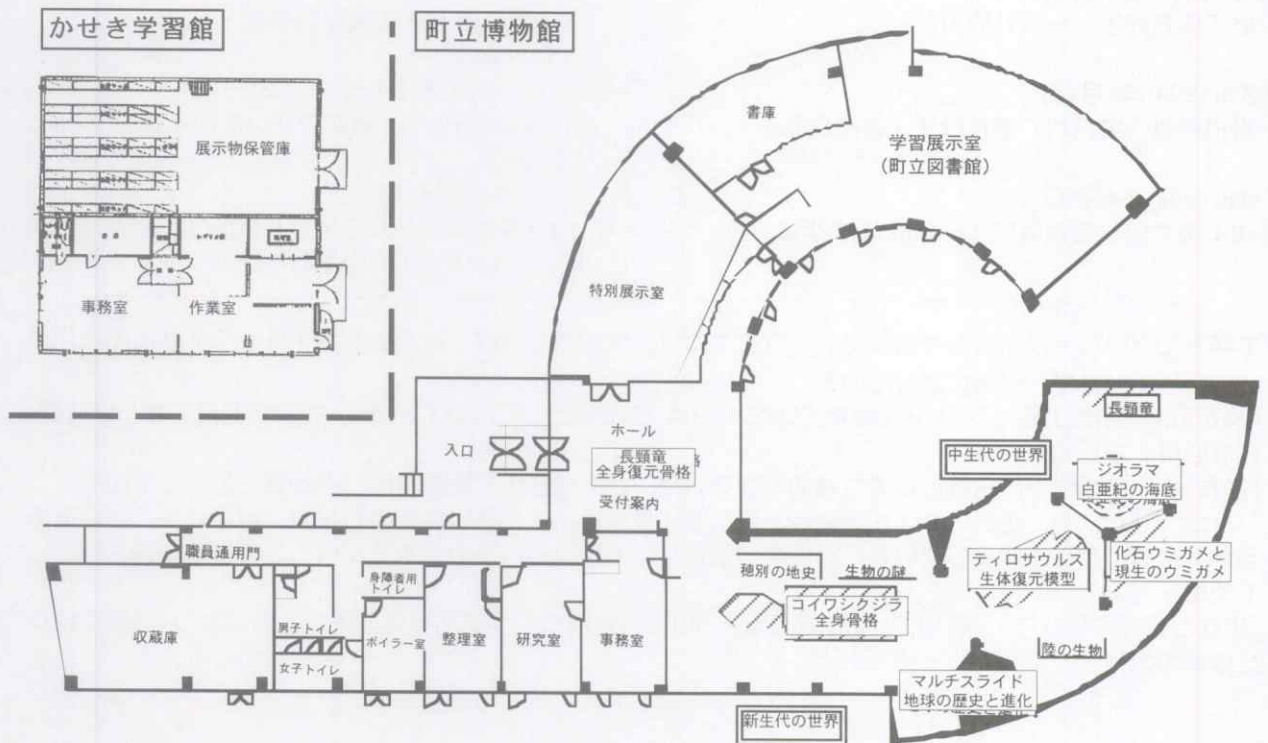
〔工 期〕

平成7年度

〔総事業費〕

5,709万2,900円（消費税込み）

●施設の概要





● 展示活動

I 常設展示

穂別町内から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

平成11(1999)年4月16日：HMG-1065 (*Mosasaurus prismaticus* の模式標本) を常設展に追加

【常設展示資料】

分類		点数		
化石	脊椎動物	魚類	7	
		爬虫類	長頸竜*	10
			モササウルス類	6
			カメ	5
			不明	1
			哺乳類	クジラ
	デスモスチルス	3		
	長鼻類*	1		
	霊長類*	8		
	軟体動物	頭足類	88	
		腹足類(巻貝)	29	
		斧足類(二枚貝)	38	
		掘足類(ツノガイ)	4	
	その他の動物	甲殻類	7	
		ウニ	4	
		植物	4	
		生痕	2	
計		225		

\*：レプリカ含む

分類		点数		
現生生物	脊椎動物	爬虫類	カメ	3
		哺乳類	クジラ	4
	鱈脚類		1	
	軟体動物	頭足類	1	
	その他	甲殻類	1	
	植物		1	
計		11		

分類		点数		
復元模型	脊椎動物	爬虫類	長頸竜	1
		モササウルス類	カメ	1
			計	3

分類		点数
岩石その他		21

合計		260
----	--	-----

(2000年3月31日現在)

II 特別展示

【滄龍の泳いだ海-7,000万年前の穂別-】 平成11(1999)年8月1日～8月31日

白亜紀後期を代表する海棲爬虫類モササウルス(滄龍)について、穂別から産出した標本を中心に紹介。

【穂別の自然】 平成11(1999)年10月5日～11月28日

町民から寄贈された植物標本をもとに、穂別の植物・自然について紹介。

III 年間入館者数

分類	平成7(1995)年	平成8(1996)年	平成9(1997)年	平成10(1998)年	平成11(1999)年	
個人	一般	13,362	12,269	12,384	7,726	8,591
	学生	5,420	4,859	4,618	2,899	3,190
団体	一般	1,869	1,661	1,685	1,017	785
	学生	3,045	2,599	2,759	1,979	2,306
計	23,696	21,388	21,446	13,621	14,872	

学生：小・中・高校生

(単位：人)

#### Ⅳ 特定入館日

##### 【学校週 5 日制関連事業】

学校週 5 日制実施にあわせて町民無料観覧を実施。毎月第二・第四土曜日を町内の児童生徒無料観覧の日とする。

##### 【博物館開館記念日関連事業】

7月20日の開館記念日に関連して、平成11(1999)年7月20日(火)～7月26日(月)を町民無料観覧の日とした。

##### 【博物館特定入館日他に伴う町民無料入館】

実施日	行事名	一般	学生	計
'99.4.1. ～ '00.3.31	学校週 5 日制 (年 2 3 回実施)	1	39	40
7.20～ 26	博物館開館記念日 (7日間)	19	4	23
9.15	敬老の日	4	2	6
11.3	文化の日	1	0	1
11.12	天皇在位10年記念	4	0	4
11.23	勤労感謝の日	10	8	18
1.10	成人の日	1	0	1
計	延べ35日	40	53	93

学生：小・中・高校生

(単位：人)

#### ● 広報活動

##### 【ホッピーだより (博物館広報紙)】

173号 (平成11(1999)年4月)

「寄贈資料の紹介」

174号 (平成11(1999)年5月)

「展示資料の紹介 (その1) -長頸竜」

175号 (平成11(1999)年6月)

「展示資料の紹介 (その2) -滄龍」

176号 (平成11(1999)年7月)

「展示資料の紹介 (その3) -滄龍2」

177号 (平成11(1999)年8月)

「夏休み特集号-特別展示・博物館ツアー」

178号 (平成11(1999)年9月)

「展示資料の紹介 (その4) -古代ウミガメ」

179号 (平成11(1999)年10月)

「秋の行事特集号-8月・9月の行事」

180号 (平成11(1999)年11月)

「学芸員の業務紹介-研修の秋」

181号 (平成11(1999)年12月)

「展示資料の紹介 (その5) -ホバツケントリ  
オドン」

182号 (平成12(2000)年1月)

「謹賀新年-今年はタツ年」

183号 (平成12(2000)年2月)

「展示資料の紹介 (その6) -白亜紀の穂別」

184号 (平成12(2000)年3月)

「常設展示室の紹介-これが穂別の博物館」

##### 【博物館協会等機関紙】

平成11(1999)年12月：日胆地区博物館等連絡協議会ニュース (第6号)「名古屋市とその周辺の博物館」

平成12(2000)年3月：日胆地区博物館等連絡協議会ニュース (第7号)「数字で見る穂別町立博物館」

##### 【新聞等掲載】

平成11(1999)年9月28日～10月2日：北海道新聞 地方欄・東胆振探見「化石のつぶやき『昔、穂別は海だった』」(5回連載)

平成11(1999)年12月24日：北海道新聞・ネーチャー通信 (No.13)「メッセンジャー 地球の過去伝える化石」



## ●普及教育活動

### I 博物館事業

回鳥学講座：化石から見る海鳥（大8）

#### 【博物館講座】

平成12(2000)年3月11日：「化石クリーニングとレプリカ作成」（小8, 大8）

#### 【博物館めぐりバスツアー】

平成11(1999)年6月：

23日：＜第1回＞胆振管内4館 [登別市郷土資料館（登別）、仙台藩元陣屋資料館・アイヌ民俗博物館（白老）、苫小牧市博物館（苫小牧）]（大8）

平成11(1999)年8月：

27日：＜第2回＞道央地域4館 [穂別町立博物館（特別展）、日高山脈館（日高）、三笠市博物館（三笠）、滝川市美術自然史館（滝川）]（大19）

平成11(1999)年10月：

27日：＜第3回＞日高管内8館 [沙流川歴史館・アイヌ民俗資料館（平取）、郷土資料館（門別）、アイヌ民俗資料館（静内）、郷土資料館・馬事資料館（浦河）、水産の館・郷土資料館（えりも）]（小1, 大19）

#### 【土よう日の集い】（生涯学習課事業へ協力）

平成11(1999)年9月：

11日：「化石採集」（福山鶴川川岸）（小5, 大2）

### II 町外での事業

#### 【化石採集】

平成11(1999)年10月：

30日：日高町教育委員会「日高の地質を見て歩こう体験の会(第3回)」（小1, 大10）

#### 【講演会】

平成11(1999)年11月：

12日：静内町郷土館（静内町）「郷土館講座：海竜の時代-山脈ができる前の海」（大15）

28日：千歳化石会（千歳市）「穴あきアンモナイトの謎」（小2, 大20）

平成11(1999)年12月：

18日：北海道海鳥センター（羽幌町）「第1

### III 町内団体の利用

\*：学芸部門で対応

#### 【町内小中学校・教育関係団体】

平成11(1999)年6月：

15日：\*町教育研究会（社会）「展示見学」（大4）

30日：\*仁和小「展示見学」（小17, 大2）

平成11(1999)年7月：

3日：\*稲里小「展示見学」（小6, 大2）

14日：\*和泉小「展示見学」（小2, 大1）

平成11(1999)年10月：

19日：\*町教育研究会（社会）「化石クリーニング」（大4）

平成11(1999)年12月

2日：\*町教育研究会（理科）「展示見学」（大6）

21日：穂別中学校（3A, 3B）（小40, 大2）

#### 【町内その他団体】

平成11(1999)年8月：

27日：\*博物館めぐりバスツアー（前掲）「展示見学」（大19）

平成12(2000)年2月：

25日：\*穂別地球体験館スタッフ「展示見学」（大5）

### IV 町外団体の利用

\*：学芸部門で対応

#### 【町外学校・教育関係団体】

平成11(1999)年5月：

9日：清水ヶ丘高校（小240, 大12）

11日：門別町立厚賀中学校（小29, 大3）

21日：長沼町中央長沼中学校（小104, 大8）

27日：\*札幌啓明中「展示見学・化石クリーニング」（小76, 大3）

27日：星翔高校（小164, 大8）

平成11(1999)年6月：

9日：富良野市布部中学校（小14, 大4）

24日：北海道南幌養護学校（小8, 大8）

平成11(1999)年7月：

1日：千歳市桜木小学校（小90, 大7）

1日：石狩市樽川中学校（小171, 大11）

1日：札幌市南の沢小学校（小157，大10）  
 2日：千歳市高台小学校（小64，大6）  
 5日：\*札幌八軒北小「展示見学・講演会」（小79，大6）  
 5日：札幌市澄川南小学校（小83，大8）  
 5日：札幌市西野小学校（小79，大6）  
 6日：高校長協会東部地区高校長研修会（大9）  
 8日：\*胆振管内高校初任者研修「展示見学」（大6）  
 8日：恵庭市柏陽中学校（小131，大9）  
 9日：\*札幌豊水小「展示見学」（小12，大1）  
 11日：日本宇宙少年団苫小牧分団（小21，大11）  
 14日：苫小牧市明野中学校（小181，大10）  
 15日：苫小牧市澄川小学校（小150，大10）  
 15日：苫小牧市和光中学校（小238，大13）  
 25日：\*北電おもしろ実験室「展示見学」（小30，大14）  
 平成11(1999)年9月：  
 1日：胆振教育局指導主幹視察（大2）  
 16日：\*胆振教育局初任者研修「展示見学・講演会・地質見学会」（大41）  
 26日：北海道教育大学札幌校フレンドシップ事業（小38，大7）  
 29日：\*黒松内町教職員研修「展示見学」（大4）  
 平成11(1999)年10月：  
 23日：苫小牧つばさ子供会（小29，大5）  
 平成11(1999)年11月：  
 9日：富川ひばり幼稚園（小38，大4）  
 10日：富川ひばり幼稚園（小57，大4）  
 12日：富川ひばり幼稚園（小55，大4）  
 16日：\*静内町高静小教員研修「展示見学・化石クリーニング」（大5）

#### 【町外その他団体】

平成11(1999)年5月：  
 27日：胆振地区統計協議会総会参加者（大4）  
 平成11(1999)年6月：  
 30日：\*北海道開発局「展示見学」（大14）  
 平成11(1999)年7月：  
 4日：自治大101期生施設研修（大4）  
 14日：\*音更町視察「展示見学」（大2）  
 15日：農業体験者町内施設見学（大2）  
 27日：中川町議員視察研修（大9）  
 平成11(1999)年8月：  
 24日：\*江別市視察「展示見学」（大20）  
 26日：\*北海道文化庁「展示見学」（大4）  
 27日：苫小牧市博物館友の会（大2）  
 平成11(1999)年9月：  
 8日：静内町公民館（大3）  
 17日：苫小牧警察広報担当（大3）  
 平成11(1999)年10月：  
 28日：苫小牧穂別会ふるさと訪問行事（大8）  
 平成11(1999)年11月：  
 6日：更別村「八起会」研修（大10）  
 16日：夕張観光開発(株)研修施設職員（大2）  
 17日：胆振教育局職員（大3）  
 17日：穂別町商工会主催事業講師（大2）  
 22日：北海道森林計画課職員（大2）  
 26日：穂別町商工会関係者（大4）  
 27日：林野庁職員（大7）  
 30日：\*STVスタッフ「展示見学」（大4）  
 平成12(2000)年1月：  
 27日：\*東胆振議会議長・副議長（大20）  
 平成12(2000)年3月：  
 1日：夕張市役所（大2）  
 14日：夕張市役所（大2）  
 29日：札幌共育舎（大1）

●収蔵資料概要（登録資料）

【自然史系登録資料（HMG）】 1,067点

収蔵場所	動物	植物	その他	計
常設展示室	185	2	18	201
処理中	1	0	0	0
貸出中	10	0	0	10
収蔵庫	841	4	6	851
計	1,037	6	24	1,067

【自然系登録資料（HMB）】 78点

収蔵場所	動物	植物	その他	計
常設展示室	1	0	0	1
貸出	22	0	0	22
収蔵庫	31	24	0	54
計	54	24	0	78

【人文系登録資料（HMC）】 3,727点

（2000.3.31.現在）

●資料収集保存活動

I 寄 贈

【自然史系資料】 26件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
99-001	アンモナイト	1	阿部 利春
99-002	地質学文献一式	一式	地徳 力
99-003	アンモナイトほか	12	阿部 利春
99-004-2	二枚貝,	2	千歳化石会
99-005	アンモナイト		
99-009	気圧計	2	開発局
99-011	石炭（貝化石？含有）	1	笠巻 袈裟男
99-013 ~ 99-016	アンモナイト, イノセラムスほか	2	千歳化石会
99-021	アンモナイト	1	河崎 元也
99-023	アンモナイト：1	1	笠巻 袈裟男
99-025	アンモナイトほか	13	千歳化石会
99-026	骨化石	1	荒木 新太郎
99-027	ノジュール	6	上村 裕平
99-031	アンモナイトほか	6	笠巻 袈裟男
99-032	植物化石	1	上村 裕平
99-034	アンモナイトほか	5	成田 公紀
99-037 ~ 99-038	アンモナイト, 植物化石, サメの歯	9	千歳化石会
99-040	アンモナイト	1	高橋 博志
99-041 ~ 99-043	骨化石？ほか	3	千歳化石会
99-045 99-047	貝化石	2	笠巻 袈裟男

【自然系資料】 2件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
99-039	穂別の植物	一式	笠巻 袈裟男
99-048	ゴジウカラ	1	太田 麻衣

【人文系資料】 0件

【その他】 2件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
99-008	麻袋	4箱	古野 竹志
99-017	ツツジ	10	渋谷 直憲

II 採 集

【自然・自然史系資料】 18件

受入番号	寄贈資料	点数	採集地
99-004-1	珪化木	1	穂別
99-006	アンモナイト	1	穂別
99-007	アンモナイトほか	1	稲里
99-010	骨化石	2	穂別
99-012	アンモナイト	1	稲里
99-018	アンモナイトほか, 植物化石	3	富内
99-019	アンモナイトほか	6	富内
99-020	アンモナイトほか	2	稲里
99-022	アンモナイトほか	1	長和
99-024	アンモナイトほか	5	長和
99-028	赤色チャート	1	長和
99-029	貝化石（密集部）	多数	長和
99-030	アンモナイトほか	3	穂別
99-033	アンモナイト・植物化石ほか	6	稲里
99-035	貝化石	1	福山
99-036	貝化石：多数	多数	福山
99-044	珪化木	1	平丘
99-046	アンモナイト	1	平丘



### Ⅲ 新規登録資料

【自然史系資料 (HMG)】 3件

登録番号	学名・資料名	備考
HMG-1065	<i>Mosasaurus prismaticus</i> SAKURAI, 1999	櫻井ほか (1999)
HMG-1066	<i>Pachydesmoceras pachydiscoide</i> Matsumoto, 1954	
HMG-1067	<i>Plesiosauroidea</i> , gen. et sp. indet.	詳細は研究中

【自然系資料 (HMB)】 1件

登録番号	学名・資料名	備考
HMB-78	穂別町の植物	植物標本

【人文系資料 (HMC)】 0件

### Ⅳ 資料の貸出

平成8(1996)年5月11日～平成9(1997)年8月31日

ウミガメ化石：帝京平成大学平山 廉博士, 3点

平成8(1996)年8月1日～平成9(1997)年8月31日

ウミガメ化石：帝京平成大学平山 廉博士, 5点

平成9(1997)年4月1日～平成12(2000)年3月31日

アンモナイト・イノセラムス：穂別地球体験館,  
2点

平成9(1997)年4月1日～平成12(2000)年3月31日

人文系資料：みどりと文芸の館(富内), 6点

平成9(1997)年4月1日～平成12(2000)年3月31日

自然系資料(剥製)：穂別町立穂別小学校, 20点

平成9(1997)年6月18日～9月9日

クビナガリュウ全身復元模型, モササウルス鱗化石, オサガメ化石：北海道開拓記念館第44回特別展「クビナガリュウからステラーカイギュウ化石に見る世界の海」にて展示

平成9(1997)年6月27日～平成10(1998)年6月26日

アンモナイト化石：工業技術院地質調査所利光誠一博士, 2点

平成9(1997)年7月25日～10月31日

植物化石：三笠市立博物館, 7点

平成9(1999)年9月3日～9月16日

クビナガリュウ全身復元模型：'97北海道化石サミット記念特別展にて展示

平成9(1997)年9月5日～9月6日

人文系資料：第14回ウタリ碑前祭にて使用, 15点

平成9(1997)年10月1日～平成12(2000)年3月31日

甲殻類の化石：千葉県立中央博物館加藤久佳学芸員, 2点

平成10(1998)年4月1日～平成11(1999)年3月31日

三笠産魚竜化石：北海道大学大学院理学研究科渡辺暉夫教授, 1点

平成10(1998)年6月18日～9月30日

クビナガリュウ全身復元模型, モササウルスひれ化石：特別展「化石は語る—太古の海と動物」(芦別星の降る里百年記念館), 各1点

平成10(1998)年6月14日～6月17日

シントコ：ウタリ協会穂別支部, 1点

## I 脊椎動物化石の研究

### 【総論】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告, [1], 47-52.

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1990] 穂別町立博物館研究報告, [6], 37-35.

[1993] 日本地質学会第100年学術大会(東京) 夜間小集会口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 一般発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 夜間小集会口頭発表

### 【デスモスチルス】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告, [1], 11-23.

[1984] 地団研専報, [28], 51-61. (松井 愈・山口昇一 共著)

[1985] 穂別町立博物館研究報告, [2], 51-62.

赤松守雄(北海道開拓記念館)学芸員に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 地団研専報, [28], 63-68.

### 【クジラ】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

一島啓人(オタゴ大学大学院)氏に研究委託

公表論文・講演:

[1992] 穂別町立博物館研究報告, [9], 37-44.

[1994] The Island Arc, [3], 473-485.

[1994] The island Arc, [3], 486-492.

### 【ウミガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告, [2], 17-30. (鈴木 茂 共著)

[1992] 穂別町立博物館研究報告, [8], 17-57.

[1992] 日本地質学会第99年学術大会(熊本)口頭発表

[1994] 地団研専報, [43], 17-24. (地徳 力 共著)

[1994] The Island Arc, [43], 270-284.

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌) 夜間小集会口頭発表

[1995] 日本地質学会第102年学術大会(広島) 口頭発表

[1996] 日本古生物学会報告・紀事, [184], 597-622. (地徳 力 共著)

### 【リクガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1998] 穂別町立博物館研究報告, [14], . (紀藤典夫・川上源太郎 共著)

[1998] 日本古生物学会例会(札幌)口頭発表

### 【長頸竜】

仲谷英夫(香川大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1981] 日本地質学会第88年学術大会(東京)口頭発表

[1982] 日本地質学会第89年学術大会(新潟)口頭発表

[1982] 動物と自然, 12, 11-16.

[1984] 穂別町立博物館研究報告, [1], 37-40.

[1985] 穂別町立博物館研究報告, [2], 43-49.

[1989] 穂別町立博物館研究報告, [5], 43-48.

[1989] 日本古生物学会報告・記事, [154], 96-116.

### 【モササウルス】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)氏が研究

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告, [2], 31-42.

[1985] 地学団体研究会専報, [30], 45-66.

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演:

[1987] 日本地質学会第94年学術大会(大阪)口頭発表

- [1990] 日本地質学会第97年学術大会(富山)口頭発表  
 [1990] 日本地質学会北海道支部報, [1], 45-46  
 [1991] 穂別町立博物館研究報告, [7], 9-14.  
 (紀藤典夫 共著)  
 [1994] 穂別町立博物館研究報告, [10], 39-54.  
 櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演:

- [1999] 日本地質学会北海道支部平成10年度総会・例会(札幌)口頭発表  
 [1999] 穂別町立博物館研究報告, [15], 53-66  
 (地徳 力・渋谷直憲 共著)  
 [1999] 日本地質学会第106年学術大会(名古屋)口頭発表

### 【サメ】

久家直之氏(ジオサイエンス株式会社)に研究委託

公表論文・講演:

- [1985] 穂別町立博物館研究報告, [1], 33-36.

### 【翼竜】(遠別町産)

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

- [1994] 日本地質学会北海道支部総会講演  
 [1996] 穂別町立博物館研究報告, [12], 17-22.

## II その他の研究

### 【穂別の地質】

川上 源太郎(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

- [1995] 穂別町立博物館研究報告, [11], 17-28.  
 [1997] 穂別町立博物館研究報告, [13], 27-42.

### 【理科教育】

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)・地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

- [1998] 日本地質学会第105年年会(松本)口頭発表

### 【博物館活動】

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

- [1989] 穂別町立博物館研究報告, [5], 33-42.

- [1995] 穂別町立博物館研究報告, [11], 29-36.

- [1995] 穂別町立博物館研究報告, [11], 37-46.

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)

公表論文・講演:

- [2000] 穂別町立博物館研究報告, [16], 9-28.

- [2000] 穂別町立博物館研究報告, [16], 29-40.

## III 現地調査

### 【現地調査活動】

4/4, 4/20, 4/29, 5/7, 5/9, 5/26, 6/12, 8/23, 9/4, 9/9,  
 9/10, 9/19, 10/31, 11/9

: 計14回

(化石採集: 10回, 普及事業下見: 3回, 動植物調査: 1回)

## IV 刊行物

### 【穂別町立博物館館報】

第16号, 14頁: 平成11(1999)年5月31日発行

### 【穂別町立博物館研究報告】

第16号, 42頁: 平成12(2000)年3月30日発行

<著者及び論文題名>

利光誠一・長谷川 卓: 1-7頁

穂別町安住地区および夕張市登川地区におけるサントニアン~カンパニアン(上部白亜系)の層序について.

櫻井和彦: 9-28頁

小規模博物館学芸員の業務内容の実際-穂別町立博物館における1998-1999年度の実例-

櫻井和彦: 29-40頁

穂別町立博物館の来館者の傾向-1999年度調査結果より-



## V 学会・博物館協会研修会への参加

### 【学会】

平成11(1999)年10月：

8～12日：日本地質学会第106年年会（名古屋）  
「穂別地域から産出した滄龍化石」口頭発表

### 【博物館協会等の大会・研修会】

[北海道博物館協会]

平成11(1999)年7月：

1～2日：北海道博物館協会第38回大会（江別市）

平成11(1999)年9月：

30日～10月1日：北海道博物館協会・学芸職員部  
会研修会（留萌市）

平成11(1999)年10月：

11～12日：北海道博物館協会・ミュージアムマ  
ネージメント研修会（七飯町）

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成11(1999)年6月：

3～4日：日胆地区博物館等連絡協議会・総会  
（伊達市）

平成11(1999)年10月：

14～15日：日胆地区博物館等連絡協議会  
博物館職員研修会（えりも）

### 【その他研修会・会議等】

平成11(1999)年10月：

21～22日：北海道化石サミット（小平町）

平成12(2000)年2月：

26日：北海道大学総合博物館第2回公開シンポ  
ジウム「アジアの恐竜研究・現状と将来展望」  
（札幌）

平成12(2000)年3月：

4日：沙流川歴史館講座（平取町）

## VI 研究者の来館

平成11(1999)年5月：

13日：箕浦 名知男助教授（北大）来館

平成11(1999)年6月：

14～15日：越前谷 宏紀（北大・院）来館

15日：森岡 健治学芸員（平取沙流川歴史館）来  
館

26日：新井田 清信助教授（北大）来館

平成11(1999)年8月：

6日：木村 方一教授（札教大）来館

17日：澤村 寛学芸員（足寄動物化石博物館）来  
館

平成11(1999)年11月：

2日：蟹江 康光学芸員（横須賀市自然・人文博物  
館）来館

平成12(2000)年2月：

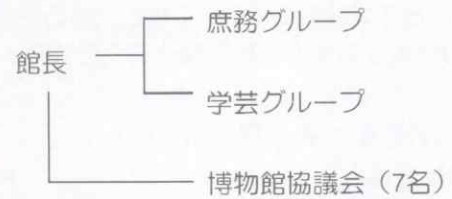
24～25日：平山 廉助教授（帝京平成大学）来館

●運 営

I 行事等

平成11(1999)年4月：  
 20日：穂別町立博物館協力会・総会  
 平成11(1999)年5月：  
 1日：日胆地区博物館等連絡協議会・スタンプラリー'99開始（～2/29）  
 8日：Jesper Wachtmeister（TVカメラマン、スウェーデン）取材のため来館  
 29日：入館者30万人達成（記念品配布～6/13）  
 平成11(1999)年6月：  
 3日：北海道新聞木曜版「おふたいむ」にて紹介  
 平成11(1999)年8月：  
 29～30日：かせき学習館燻蒸  
 平成11(1999)年9月：  
 14～23日：博物館実習生（北海道教育大学旭川校、1名）受入  
 平成12(2000)年1月：  
 ：穂別地域を「北海道遺産」に推薦  
 平成12(2000)年2月：  
 9～10日：足寄動物化石博物館を訪問（施設見学・レプリカ作成依頼）  
 29日：展示室大掃除

II 組 織



職員名簿（平成12(2000)年3月31日現在）

館長 山田 正  
 庶務主幹 芦谷 優子  
 学芸員 櫻井 和彦

博物館協議会委員(平成12(2000)年3月31日現在)

会長 荒木 新太郎  
 副会長 小石川 武美  
 委員 久保田 瑞真  
 委員 高橋 文明  
 委員 工藤 勉  
 委員 藤江 保徳  
 委員 村上 隆

(任期：平成12(2000)年7月31日まで)

III 利用状況

【常設展示観覧者】

平成11(1999)年4月～平成12(2000)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	508	142	650	26
5	2,258	1,539	3,797	24
6	759	183	942	25
7	1,317	1,871	3,188	31
8	2,199	1,113	3,312	31
9	876	209	1,085	24
10	868	226	1,094	25
11	325	87	412	22
12	16	43	59	23
1	51	8	59	21
2	46	16	62	24
3	153	59	212	24
計	9,376	5,496	14,872	300

(単位：人・日)

#### Ⅳ 博物館使用料収入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	8,303	2,490,900
	団体	501	100,200
学生	個人	3,137	313,700
	団体	2,243	112,150
合計		14,184	3,016,950

(単位：人・円)

#### Ⅴ 平成11年度予算

費 目	予 算
報 酬	49
共 済 費	256
賃 金	4,139
報 償 費	146
旅 費	372
需 用 費	6,377
役 務 費	570
委 託 料	2,806
使用料及び賃借料	752
工事請負費	13,157
原 材 料 費	262
備 品 購 入 費	401
負担金補助及び交付金	152
博 物 館 費 合 計	29,439

(単位：千円)

#### Ⅵ 利用案内

##### 【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

##### 【休館日】

月曜日・祝日の翌日・毎月月末・  
年末年始（12月30日～1月5日）

##### 【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

\* 学生：小・中学生・高校生

\*\*団体：10人以上

##### 【減 免】

「（穂別町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（穂別町立博物館設置条例、第6条）」が「（穂別町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第7号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則 第6条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

##### （教育目的）

1) 穂別町立小・中学校及び北海道穂別高等学校の児童生徒が教育を目的として入館する場合

##### （研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

##### （福祉目的）

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

##### （公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合





穂別町立博物館館報 第17号

平成11(1999)年度

発行 2001年2月28日

発行者 穂別町立博物館

〒054-0211

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL (01454) 5-3141

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hobemus/>

印刷 穂別誠和学園

〒054-0364

北海道勇払郡穂別町字富内114番地

TEL (01454) 6-6014

